



令和元年度 1 回目 「葵いきいきアンケート」 集計結果から（12 月学校だより別紙） 令和元年 11 月 26 日

先日行いましたアンケートにご協力をありがとうございました。結果について概略をお知らせします。表の中の「ABCD」はそれぞれアンケート用紙の「よく出来ている（そう思う）・大体出来ている（大体そう思う）・あまり出来ていない（あまりそう思わない）・出来ていない（そう思わない）」に対応しています。表では「A+B」と「C+D」に分けて回答の割合をパーセントで表しました。また、最後の自由記述欄にもたくさんの方が具体的なご意見やご感想を書いていただきました。教職員で結果を共有し、今後の取組の参考にいたします。ありがとうございました。

確かな学力

めあてにむかって学び深め、振り返りを進める葵の子ども
「自分の考えや意見を進んでだしている」「友だちと協力して取り組む」「学習課題がわかり、めあてに向かって努力する」などの回答では、9 割以上がそう思うと答えています。

また、今年度は、毎時間の授業の課題を子ども達と確認し、振り返る時間を大切にしてきました。その意識を確かめるために、「めあてについて振り返りができている」の項目を新たに設けました。これも 9 割近い割合がそう思うと答えています。

課題解決に向けて

一方で、「自分の考えを言う(子どもへの質問「授業中自分の考えや意見を進んで出していますか」)や読書の習慣、自学自習の習慣については比較的「そう思わない」子どもが多い項目です。教職員が日々の授業を振り返り、「主体的・対話的で深い学び」につながる活動を様々な場面・方法で工夫していきたいと思います。

また、家庭学習については、「いきいき家庭学習」を学年に応じた形で取り組み始めました。子どもが自主的・意欲的に学ぶ習慣を身につけることができるように、今後教職員で話し合いを進め、保護者の皆様と協力してよりよい家庭学習をつくっていききたいと思います。

教室では、本が好きで学校での読書を楽しむ子どもが多くいます。今後も、読書に親しむ機会を増やし、学校司書を活用し、授業で図書館利用を進めます。PTA の図書館環境整備委員会、読み聞かせボランティア等の活動によって子ども達の読書生活が大変豊かになっています。ありがとうございます。

健やかな体

見直そう！時間の使い方や食の大切さ

今回のアンケートでは、規則正しい生活ができていると答えた児童の割合が例年より低くなりました。心と身体の成長や学校生活の基盤となる睡眠や食事については、保健だよりや学級指導、食育等を通して、その重要性を丁寧に伝えていきたいと思います。

体を動かすことについては、できているとした子どもの割合が高く、体育や休み時間、たてわりグループでの遊びなどで子どもたちは大変意欲的に活動しています。

安全についても避難訓練などの行事や日々の学校生活の中で指導を進めています。今後も、日頃の安全指導を大切にしていきます。

確かな学力

		A+B	C+D
自学自習の習慣 (家庭では自分で学習時間を決める等の工夫をする)	123年児童	79	21
	456年児童	71	29
	保護者	79	21
基礎・基本の学力が身についている	保護者	87	13
人の話を聞く (授業中先生や友だちの話をよく聞く)	123年児童	95	5
	456年児童	93	7
	保護者	80	20
自分の考えをもつ	保護者	83	17
自分の考えを言う (自分の考えや意見を進んで出している)	123年児童	79	21
	456年児童	67	33
	保護者	75	25
読書の習慣 (本や新聞、低15分以上・高30分以上)	123年児童	69	31
	456年児童	65	35
	保護者	68	32
グループ学習では友だちと協力して取り組む	123年児童	95	5
	456年児童	95	5
学習課題がわかり めあてに向かって努力する	123年児童	91	9
	456年児童	90	10
友だちと協力することは学習に役立つ	123年児童	95	5
	456年児童	97	3
めあて(課題)について振り返りができている	123年児童	91	9
	456年児童	87	13

健やかな体

		A+B	C+D
安全に気をつけて生活している	123年児童	96	4
	456年児童	92	8
	保護者	93	7
基本的な生活習慣が身についている	123年児童	83	17
	456年児童	80	20
	保護者	86	14
体を動かす機会が多い	123年児童	95	5
	456年児童	85	15
	保護者	76	24

豊かな心

		A+B	C+D
自信をもつように子どものよい面をのぼす (自分によいところがある)	123年児童	91	9
	456年児童	88	12
	保護者	84	16
気持ちの良いあいさつ (自分からすすんであいさつをする)	123年児童	91	9
	456年児童	89	11
	保護者	83	17
友だちと仲良くしている	123年児童	93	7
	456年児童	97	3
	保護者	97	3
正しい言葉づかいをしている	123年児童	86	14
	456年児童	83	17
	保護者	80	20
きまりや約束を守る	123年児童	93	7
	456年児童	90	10
	保護者	96	4
物を大切にする	123年児童	95	5
	456年児童	93	7
	保護者	76	24
学校やクラスは楽しい	123年児童	93	7
	456年児童	91	9
自分や人の気持ちを大切にしている	123年児童	91	9
	456年児童	94	6
いじめを許さない心情が育っている	保護者	97	3
学校をきれいにしようとしている (掃除・片づけ)	123年児童	96	4
	456年児童	93	7



連 携

		A+B	C+D
学校のことを話す	保護者	91	9
学校・担任との連携	保護者	95	5
学校からの情報発信	保護者	97	3
学校は人権を守る	保護者	97	3
学校は分かりやすい授業をしている	保護者	98	2

豊かな心

期待の登校、満足の下校となるように

例年と比較して、「正しい言葉づかいをしている」、「自分や人の気持ちを大切にしている」の項目で、そう思うという回答が増えています。また、「友だちとなかよくしている」とした評価も高いです。この結果は、「対話の時間」に加え、全校集会・学活・道徳などでのソーシャルスキルや異学年集団での指導(「きりりタイム」)を継続して進めてきた成果であると考えています。

ただし、わずかではありますが、「学校やクラスが楽しい」、「人の気持ちを大切にしている」と思うことができない子どももいます。一人一人の思いを十分にくみ取り、学校生活のあらゆる場面で、成就感や達成感が味わえるように取組を進めたいと思います。

対話から高まる人間関係力

本校では、「対話」をキーワードに研修を深め、よりよい学校組織の在り方を模索しています。また、授業では「対話の時間」に取り組んでいます。資質・能力としての「人間関係力」を育てようと、対話力を高めるために、自らの思考や感情・願いに向き合い、すべての人に「願い」があることに気づく取組を進めています。今回の結果については、そのような取組の成果もあるのではと考えています。

学校・家庭・地域の力を合わせて葵の子どもを

PTA のあいさつ運動、登下校の見守りの際の声かけ等、皆様の日々の取組が人間関係を豊かにする大きな力となっています。様々な方々と子どものかかわりを大切にしていきたいと思います。

家庭と学校の連携

ベクトルを合わせて子ども達を育む

今回のアンケートや日々の子ども達の姿から課題が浮かび上がってきています。その課題解決に向け、育てたい子ども像について、家庭、地域の方々への情報発信を通して、ベクトル合わせを行いながら、家庭・地域と学校の子どもの達をよりよく育む力が大きくなるように連携を図っていききたいと思います。

子ども達の様子について、今後も学校と保護者の皆様が情報交換を密にすることで、多角的に子どもの姿を理解し、的確な指導(教育)を進めていきます。授業参観、家庭訪問や長期休業前の懇談会等を大切にして連携をより深めていきたいと考えています。

